

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100708
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム 清滝
所在地	鹿児島県鹿児島市西千石町13番30号 (電話) 099-213-9950
自己評価作成日	平成26年5月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年6月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 尊厳をもってその人らしい暮らしができるようお手伝いします
- ゆったりと暮らせる環境を一緒に作っていきます。
- 地域の一員としての橋渡しを行います。を基本理念に掲げ
 - ・ ご利用者、ご家族との関係性を大切にしている。行事もご家族参加型の行事に取り組み、家族会を開催してご利用者の日々の暮らしを知って頂いたり、ご要望や相談しやすい環境作りに取り組んでいる。
 - ・ 鹿児島市の中心に位置し交通の便にも恵まれているため、おはら祭りやハンヤ、地域小学校での行事など外出しやすい環境である。行事なども事業内(通所介護事業所やサービス付高齢者専用賃貸住宅)と合同での行事やレクリエーションなどの交流を行っている。
 - ・ 沖野循環器科病院が併設であり、定期的受診や緊急時でも対応ができ安心して生活ができるように支援している。
 - ・ 外部研修に参加したり、内部研修開催し年間計画を立ててケアの質向上に向けて努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ 当ホームは市内の繁華街周辺地域に位置し、10階建てビルの6・7階である。建物内に同法人の通所事業所等があり交流を行っている。周囲には小学校や公民館・公園などがあり、春や秋の木市にも散歩で出かけている。多くの人と挨拶を交わしたり、ふれあいながら生活できる環境である。
- ・ 町内会に加入し、地域行事にも積極的に参加し、法人の行事にも地域住民が参加するなど、地域との良好な関係が築かれている。
- ・ 母体医療機関が隣接し、機能訓練や緊急時の対応などの医療連携体制が整っている。
- ・ 災害対策として定期的に避難訓練を実施している。安全対策の設備整備もなされ、エレベーター以外の避難通路での訓練も実施している。
- ・ 管理者は職員を育てることに力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。職員は自らの資質向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームでの掲げている理念を、各階の玄関に掲示し、全職員が共有して実践につなげるように努力している。また年に1回勉強会を開催し、ケアへの振り返りも行っている。	地域との関連性を重視した理念をホールや玄関に掲示している。職員会議等でさらに掘り下げて話し合い、具体的なケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に1回開催の運営推進会議にて民生委員の参加や、地域包括支援センター職員に参加して頂き、また緊急時の協力体制など、地域の一員としての関わりがあるよう努力している。	町内会に加入し、地域行事の祭りや近くの小学校の運動会の見物に積極的に参加している。事業所の夏祭りなどには多くの地域住民や家族の参加がある。幼稚園児との交流やボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	グループホーム職員全員認知症サポーター養成講座や、認知症の自施設、外部研修へも積極的に参加し、ご家族や地域の方々に向けての支援体制にも努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて入所状況、事故状況、行事・研修参加状況、外部評価結果などを報告し、また出席者（民生委員、地域包括）からのご意見も頂き、サービス向上に生かしている。	会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告などを行い、意見交換をしている。広報誌へのアドバイスや花見のお勧め場所等の意見を聞きサービス向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営規定の変更や改正、事故報告など、密に連絡、報告を行い相談、援助を頂いている。	市担当者には日頃から、メールや電話で連携を取り合い情報交換をし、指導やアドバイスを貰っている。市主催の研修会にも積極的に参加し、介護相談員の受け入れも行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の定義を常時職員が閲覧できる所に掲示し、毎月の勉強会にも取り入れてケアへの振り返り、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。また、随時スタッフミーティングも行っている。	身体拘束の定義を掲示して、定期的な勉強会を実施し、対象となる事例検討会などで職員の共通認識を図り、拘束をしないケアを実践している。年1回マニュアルに添っての勉強会も行っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中は玄関の施錠をせずに職員間の連携で自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の定義も常時職員が閲覧できる状態にし、勉強会にも取り入れ、実際のケアでも虐待にならないか、話し合い、指導や防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、利用者様で制度を利用されていないが、職員は外部研修や勉強会を通して制度や大切さを学び、ケアに活かせるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際や改正、その他の説明、交付、同意が必要な際など、十分に説明し、不明な点や不安な点がないようにし、交付、同意を得ている。また契約後も随時相談体制の支援に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談窓口を設け、協力機関とも連携し、ご利用者やご家族がいつでも相談できる支援作りに努めている。また家族会を開催し、他のご家族からのご意見、それに対するの改善報告等、運営推進会議での報告等も行っている。	利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会や家族会で声かけをして意見等を聞き、出された意見や要望等は職員で話し合いサービス向上に反映させ、運営推進会議での報告も行っている。相談窓口も設けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回、責任者会議、職員会議、勉強会、スタッフカンファレンスの機会を設け、必要時は責任者会議にて法人全体に提案し、反映されるように努力している。	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、毎月の職員会議やスタッフカンファレンス等で意見や提案を聞く機会を設け、運営に活かすようにしている。法人の責任者会でも提案をしている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が働きやすく、長く勤めて頂けるよう、個々の努力や実績、勤務状況を代表者へ報告し、支援を行っている。また外部研修を提示したり有休休暇など職員同士で快くとれるような職場環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム内部の勉強会だけでなく、法人内での勉強会、外部の研修会を提示、参加を募り、職員個人の力量を把握し、スキルアップにつなげられる様努力している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他GHと運営推進会議に相互参加し、意見交換を行い、サービスの質を向上させていく取組を行っている。また常に空床状況を開示したり、往診の際に意見貢献を行いながら、サービスの質を向上させていく取組を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様、ご家族の思いを大切にし、サービス利用開始前のアセスメントなども不安な事、要望に耳を傾け支援に努めている。また、介護支援計画作成時もアセスメント、モニタリングにて随時見直しを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用契約前においてもご家族の要望や、本人様の言えない思いなど、ご家族を通してお聞きする事もあり、契約後も支援継続しながら、良い関係性が保てるように支援する努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、ご家族が不安をしている事や必要としている事を、定期的なモニタリグ、サービス内容の確認だけでなく、日々の満開時においても状態を報告し、その時に必要とされる支援ができるように努力している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様本位で、利用者様の生活の場で支援させていることを念頭に置き、人と人との関係性、共に支えあう関係性が築けるように、随時ケアへの振り返りを行いながら支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の思いや、ご家族様からのご利用者への思い、絆、関係性を大切にしている。ご家族参加型の行事も多く設け、参加して頂いている。今後もケア支援できるように努めて支援していく。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人様がこれまで生活されてきた自宅や生活、仕事、友人、宗教などへの思い、関係性を大切にし、ご友人の面会なども関係が途切れないように支援している。</p>	<p>近隣の利用者が多く、馴染みの友人や知人・親せき・教え子の訪問があり、継続的關係が途切れないよう働きかけている。自宅に帰ったり、手紙の取次ぎなども行っている。行きつけの理・美容院の利用や墓参なども家族の協力を得て支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様の関係把握に努め、その方の思いや意思を尊重し、孤立しないようご利用者同士も支えあえるような支援作りに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も本人様の状態報告を聞いたり、面会に行かせて頂いたり援助、相談に努めており、良い関係性作りに努めて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者の思いを尊重し、要望や不安など言いやすい環境作りにも努めている。ご自分から発語が少ない方や視覚障害がある方への支援も個別ケアや言葉かけに工夫しており、バイタル変化などからもその方の変化に気づけるように支援する努力をしている。	日々の関わりの中で、表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。難聴や視覚障害の利用者にも家族や友人・知人からの情報を得て、職員間で話し合い、利用者の視点に立って本人本位の支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	介護計画作成やアセスメントシートや概況、課題分析票を元に生活歴や仕事内容にも着目し、またご家族からも入所前の仕事背景や思い、生活環境など情報収集し、支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者お一人お一人の生活環境やペース、心身状態を大切にし、把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人本位にてご家族、職員だけでなく主治医、各専門職、必要時は他科受診、往診、また地域との連携をとり、意見交換や情報共有し、現状に即した介護計画作成に努めている。	本人や家族の意向を確認し、主治医やその他必要な関係者の助言を取り入れ、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。6ヶ月毎にモニタリングを実施し、見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の支援（食事、入浴、リハビリ、受診）だけでなく、表情や発語、職員の対応、カンファレンス内容、訪問看護師の往診、援助内容も記載し、介護計画の見直し、実践に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスにとらわれず、個々の思い、その時に必要としているニーズに着目し、考え、アセスメント、モニタリング、ご家族の満足度など支援内容を変えたりする努力をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の支援、民生委員、地域包括、小学校での行事、地域でのお祭り行事などを通して安心した暮らしが実践できている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医、訪問看護、併設された病院と連携し、時間外でも主治医に対応して頂いたり、また受診結果も面会時に報告を行っている。また医療が必要となった場合の体制も十分に説明し、支援を行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。入所時に併設の医療機関に変更の利用者も多い。受診結果は家族に報告している。緊急時の対応などは連携を取りながら適切な医療に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設病院外来、訪問看護と連携、相談援助を受け、ご利用者の状態の早期発見に努め、変化時はすぐに報告、指示通り、経過観察、結果報告を行っている。適切な看護が受けられるように努力している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	契約時においてもご本人、ご家族に入院加療が必要となった場合の体制（料金も含め）説明を行い、病院関係者にも随時情報共有、連絡相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における方針を契約時に説明、交付を受け、同意を頂いているが、実際、支援対象となった場合、再度支援計画をたて、ご本人、ご家族と早い段階から話し合い、全体で支援できるよう努めている。実際、看取り介護も行った。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医や関係者が連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの実績もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時や急変に備え、急変マニュアルにすぐ対応できるよう努めている。また連絡網の確認も行い、日中、夜間を想定した避難訓練を年に2回行い、実践力を身に付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、日中夜間を想定した避難訓練を行い、災害対策マニュアルの定期的な見直し、搬送方法の実践を行っている。また非常時に備えて非常食の備蓄をしている。また運営推進会議において地域の方々の参加も依頼している。</p>	<p>年2回消防署の協力のもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。搬送方法の検討や実践も行っている。スプリンクラーや緊急通報装置を設置している。地域との連携ができている。ビル内の母体法人事業所や医療機関との協力体制も整っている。災害時の食糧等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者の思い、性格、入所前の背景など思いを尊重し、プライバシーの保護に努め、また職員からの言葉かけにも配慮を行った支援を行い、誇りやプライバシーを損ねない支援に努めている。	日々のケアの中で、人格やプライバシーを損ねないよう言葉かけや対応に留意している。特に入浴や排泄などには羞恥心に対する配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の思いや、希望、自己決定できるように（外出時の食事内容や、洋服、買い物希望など）努めて支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の思いや、その方のペースを大切に、職員側の考え、主観にならない様、職員同士も気づいた際は声をかけあいながら支援にできるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その方の思い、好み、個性を大切にし、季節や好みに合わせながら、支援しており、認知症症状にてうまく着替えが出来ない方へも言葉かけの配慮を行いながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しいと思えるようにご利用者の好みや力を活かしながら彩りや形態、栄養状態、季節を感じられたり、旬なものを提供したりするなど支援を行っている。また職員が交代にてメニュー作成も行っている。	栄養士の助言を得ながら、旬の食材で利用者の嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。利用者の個々の力量を活かしながら準備や配膳・後片づけを職員と一緒にやっている。季節の行事食など、食事が楽しみなものになるようにしている。外食にも家族の協力をもらいながら出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士と連携、必要時の相談、援助を頂き、栄養バランスを考慮し、疾患により水分制限がある方もいらっしゃるので職員全員共有しケアに努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔の清潔保持、衛生管理をしっかりし、その方の口腔状態や義歯状態、身体状況に合わせて介助、確認を行い、自立支援に努めている。また協力機関において訪問歯科往診との連携体制を整えている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限り、トイレにおいて排泄して頂き、下剤を服用している方は排便間隔の確認、その方の排泄パターンを観察し、自立支援に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。食生活や運動を大切にしている。下剤の調節などを工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	メニュー職員が交代で行っており、食事提供においても病歴や体調に考慮し、確認し、バランスのとれた食事や繊維物の多い食事、水分補給の検討の提供や運動を取り入れ、便秘の予防への支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は曜日にて決まっているが、入浴を楽しんで頂くため、必要時の曜日変更、時間変更など利用者個々に応じた入浴、言葉かけを行い、支援に努めている。	入浴は基本的には週3回であるが、利用者の体調や希望に添った入浴ができるように対応している。入浴をいやがる利用者には声かけや順番を変えるなど職員間で連携し、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の生活習慣や体調等の状況に応じて声掛けしたり、不眠の方へ睡眠パターンを観察し、医師とも連携、相談し、安心して気持ちよく睡眠がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の薬も目的、用法、用量を職員全員が情報共有し、服薬時、配薬時も確認しながら服用して頂き、副作用の確認、状態の早期発見に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の希望にあわせ、近くの公園への散歩や、近くのストアへ買い物支援等行っている。個人に応じた気分転換を図れるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望の戸外は、ご利用者の希望に応じて支援に努め、ご家族にも協力頂いている。今回、知人の墓参りに行け、何年かぶりに親戚に会え、笑顔がありましたとご家族より喜びの声もあり。今後もご家族に協力頂きながら、支援に努めていく。	日常的には、個々人の状況に応じて近隣の公園等への散歩や買い物に出かけている。計画を立てて花見やソーメン流しなど家族も一緒に出かけることもある。外食や弁当を持って出かけたたりもしてる。家族と一緒に美容院や外出・外食・墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	グループホーム生活の個人の金銭管理は職員が行っているが、初詣や、外出レクを行った際におみくじやお賽銭はご利用者にお渡ししたりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望がある際のご家族の連絡はいつでも行えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空間作りの配慮や必要以上の照明等の使用はさけ、快適に安心して過ごしていただけるように支援している。	共用の空間は明るく換気や空調の管理がされている。採光に配慮し清潔である。壁には利用者の作品が飾ってあり、電子ピアノが置いてある。対面式のキッチンからは料理のにおいや音が聞こえてくる。窓からは街の風景や様子が見え、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本的な共有スペースでの席の定位置化はご利用者の中ではあるが、時間やタイミング、その時の状況に、居室で過ごされたりと思いきいに過ごして頂けるように声掛けや工夫を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族にも、ご本人が在宅にて過ごされていた時の使い慣れた物や、家具の配置、使い慣れたものなどを聞き、ご本人らしい居室空間が演出できるように工夫している。	居室はベッドやタンス・洗面台・防火カーテンが備え付けである。テレビやラジカセ・寝具・テーブル・椅子・写真など使い慣れた物や位牌等、家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の残存機能を生かし、またご家族にも状態説明を行いながら、それに伴うリスク管理を説明、行いながら安心して自立した生活を送って頂けるように工夫、支援に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない